

教科	科目	学年	単位数	使用教科書	主な使用補助教材
国語	古文演習	2	2	精選古典探究 古文編 漢文編（東京書籍）	2027共通テスト対策重要問題集 古典よむナビ古典2.5

1 科目の目標と評価の観点

目標	言葉による見方・考え方を働かせ，言語活動を通して，国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。				
評価の観点	知識・技能	思考力・判断力・表現力		主体的に学習に取り組む態度	
	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに，我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができるようにする。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし，古文などを通した先人のものの見方，感じ方，考え方との関わりの中で伝え合う力を高め，自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。		言葉がもつ価値への認識を深めるとともに，生涯にわたって古文に親しみ自己を向上させ，我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め，言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。	

2 学習計画と観点別評価基準

学習内容	学期	学習のねらい	観点別評価基準		
			知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
日記文学 『蜻蛉日記』 『紫式部日記』 『和泉式部日記』 評論 『俊頼髓脳』 『無名抄』 『無名草子』	1 学期 (28)	・展開のおもしろさを味わいながら，説話を正確に読み取る。 ・和歌を含んだ説話を，構成を的確に捉えながら読み取る。 ・中国の話が引用された説話を，構成の特色に注意しながら読み取る。 ・歌物語の特色に注意しながら，作品に表れているものの見方，感じ方，考え方を読み取る。 ・歌物語に表れているものの見方，感じ方，考え方を踏まえ，考えを深める。 ・随筆の内容を自分と関係づけながら，ものの見方，感じ方，考え方を広げる。	・古典に用いられている語句の意味や用法を深く理解し，古文を読むために必要な語句の量を増すことを通して，語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・古文の作品や文章の種類とその特徴について理解を深めている。 ・古文の文の成分の順序や照応，文章の構成や展開の仕方について理解を深めている。 ・古文の作品や文章に表れている，言葉の響きやリズム，修辞などの表現の特色について理解を深めている。 ・古文などを読むことを通して，我が国の文化の特質や，我が国の文化と中国など外国の文化との関係について理解を深めている。 ・古文を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて深く理解し，応用できている。 ・時間の経過による言葉の変化や，古典が現代の言葉の成り立ちにもたらした影響について理解を深めている。	・「読むこと」において，文章の種類を踏まえて，構成や展開などを的確に捉えている。 ・「読むこと」において，文章の種類を踏まえて，古文特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。 ・「読むこと」において，必要に応じて書き手の考えや目的，意図を捉えて内容を解釈するとともに，文章の構成や展開，表現の特色について評価している。 ・「読むこと」において，作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえながら古文などを読み，その内容の解釈を深め，作品の価値について考察している。 ・「読むこと」において，古文の作品や文章について，内容や解釈を自分の知見と結びつけ，考えを広げたり深めたりしている。 ・「読むこと」において，古文の作品や文章などに表れているものの見方，感じ方，考え方を踏まえ，人間，社会，自然などに対する自分の考えを広げたり深めたりしている。	・進んで中国との関係などを理解し，学習課題に沿って，共通性について考えようとしている。 ・進んで文語の決まりについて正確に理解し，学習課題に沿って作品に表れているものの見方，感じ方，考え方を読み取ろうとしている。 ・進んで歌物語の特徴や古典における和歌の効用について理解し，学習課題に沿って自らの考えを深めようとしている。 ・進んで時代の異なる複数の作品の特徴について整理・理解し，学習課題に沿って嫉捨伝説が広まった理由について自らの考えを深めようとしている。 ・進んで作者の観察眼や価値観について理解し，作者の価値観が現代でもあてはまる例について考察し，学習課題に沿って平安時代の後宮生活について自らの考えを深めようとしている。
定期考查	2				
評論 『源氏物語玉の小櫛』 『花鏡』 物語 『落窪物語』 『源氏物語』 『大鏡』 俳諧 上代の文学 受験過去問演習	2 学期 (38)	・表現の特色に注意しながら，作品に表れている作者の考えを的確に捉える。 ・作品の主題を読み取り，ものの見方，感じ方，考え方を深める。 ・他の作品との関係を踏まえながら多面的・多角的に随筆を読み，考えを広げる。 ・他の作品との関係も踏まえながら作品の背景を的確に捉える。 ・作品に表れている作者のものの見方，感じ方，考え方を，自分と関係づけながら読み取る。 ・他の作品や絵との関係も踏まえながら，物語の内容を的確に読み取る。 ・作品の特色に注意しながら，歴史物語の内容を的確に捉える。 ・過去の受験問題演習を通して応用力を高める。	・古文に用いられている語句の意味や用法を理解し，古文を読むために必要な語句の量を増すことを通して，語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・古文の作品や文章の種類とその特徴について理解を深めている。 ・古文の古文の成分の順序や照応，文章の構成や展開の仕方について理解を深めている。 ・古文の作品や文章に表れている，言葉の響きやリズム，修辞などの表現の特色について理解を深めている。 ・古文などを読むことを通して，我が国の文化の特質や，我が国の文化と中国など外国の文化との関係について理解を深めている。 ・古文を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深め，応用力をつけている。 ・時間の経過による言葉の変化や，古文が現代の言葉の成り立ちにもたらした影響について理解を深めている。	・「読むこと」において，文章の種類を踏まえて，構成や展開などを的確に捉えている。 ・「読むこと」において，文章の種類を踏まえて，古文特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。 ・「読むこと」において，必要に応じて書き手の考えや目的，意図を捉えて内容を解釈するとともに，文章の構成や展開，表現の特色について評価している。 ・「読むこと」において，古文の作品や文章などに表れているものの見方，感じ方，考え方を踏まえ，人間，社会，自然などに対する自分の考えを広げたり深めたりしている。 ・「読むこと」において，古文の作品や文章を多面的・多角的な視点から評価することを通して，我が国の言語文化について自分の考えを広げたり深めたりしている。	・進んで文章の特色や作者の考え方について理解し，学習課題に沿って自らの考えを深めようとしている。 ・進んで随筆の文章に表れた作者の主張について理解し，学習課題に沿って自らのものの見方，感じ方，考え方を深めようとしている。 ・進んで他作品との関連について理解しながら，学習課題に沿って作者の考えを捉え，自らの考えを広げようとしている。 ・進んで文学史における作品の位置づけについて理解し，学習課題に沿って作者の置かれた境遇や物語に向けられた心情について読み取ろうとしている。 ・進んで作品に表れた作者のものの見方，感じ方，考え方について理解し，学習課題に沿って自分と比較しながら考察を深めようとしている。 ・進んで他の作品で言及されたり絵に描かれたりした『源氏物語』と本文とを比較し，学習課題に沿って登場人物の言動や話の概要とその意味について考察しようとしている。 ・進んで作品の叙述の特徴や語り手の立場について整理・理解し，学習課題に沿って内容について意見を述べ合い，自分の考えを深めようとしている。
定期考查	2				
	3 学期	大学入試準備			